

気仙沼市立新月中学校 クマ対応マニュアル

気仙沼市立新月中学校

1. クマとの遭遇の予防(未然防止)

生徒	☐ 徒歩で登下校する場合には、可能な限り単独行動を避けて登下校する。 ☐ 音で知らせる。 ・クマ鈴、笛、空のペットボトルなどを携帯し、人の存在を知らせる。 ☐ 危険な時間帯・場所の回避 ・クマの活動が活発な早朝や夕方の行動は特に注意する。 ・藪や沢沿いなど、クマが潜みやすい場所には近づかない。
学校	☐ クマの誘引物を除去 ・ゴミ集積所には鍵をかけフタを閉めるなど、適切に管理する。 ・敷地内の実のなる木を適切に管理し、必要に応じて伐採する。 ☐ 見通しの確保 ・校舎周辺の雑草を刈り払い、見通しを良くしてクマの隠れ場所をなくす。

2. クマが出没した際の緊急対応

- (1) 学校付近に出没した場合 ※学校敷地内や生徒が通う通学路を含む。
 (2) 学校からは離れているが、人的な被害が発生し、その発生場所と河川等(クマの移動想定ルート)でつながっている場合。
 (3) 校外での活動場所に出没した場合。
 →該当場所での活動は原則中止。人命を最優先に考慮して判断する。

	教職員の対応	生徒の対応
登下校時	☐ 職員間の情報共有・対応協議 ・登下校時刻の変更や臨時休業措置の判断 ☐ 関係機関への連絡 ※3. 連絡フロー参照 (気仙沼警察署生活安全課・近隣の学校・施設・市教育委員会等) ☐ 通学時の安全確保 ・警察(交番)へのパトロールの依頼 ☐ 保護者及び生徒への連絡(マチコミメール) ・出没情報の正確な伝達(目撃した場所や、クマの頭数、大きさ等) ・登下校時の具体的な注意事項を伝達(複数で行動、音を出すなど) ・必要に応じて引き渡しや付き添い、見守り等の依頼	【目撃情報がある場合(出現の可能性のある段階)】 登校前に目撃情報があった場合は、自宅に待機する。 1人で行動せず、川沿い・裏道は避け、人通りの多い通学路を複数人で通る。 見通しの悪い場所では、大きめの声で話しながら歩く。(存在を知らせるため) 【クマを見かけた場合】 絶対に近づかない。／走って逃げない。 クマとの距離を保ちながら、ゆっくり後退し、その場から静かに離れる。 建物・家・店などに避難し、大人へ連絡を頼む。 安全確保後、学校または110番へ通報する。 【クマに遭遇し、逃げ場が近くにない場合】 カバンや傘を広げて、自分を大きく見せる 低い声でゆっくり話しながら、後退し、それでもクマが追いかけてくる場合には、防御姿勢をとる。 絶対に背中を見せて走らない。 持ち物を投げつけない。(刺激になるため)
在校時	☐ 職員間の情報共有・対応協議 ・授業時間の短縮や部活動等放課後活動の切り上げ ☐ 児童生徒等の安全確保 ・児童生徒の所在確認・屋内退避・校舎一階の施錠(必要に応じて窓も施錠) ・屋外での活動制限(体育、休み時間、部活動等) ☐ 関係機関への連絡 ※3. 連絡フロー参照	【学校周辺でクマが出現(敷地外)】 校舎内に待機する。／出入り口を施錠する。 屋外での活動(体育・部活動等)を行わない。 【校内でクマが目撃された場合(敷地内侵入)】 教室・職員室など施錠できる部屋へ避難する。 廊下に出ない。／窓を開けて外をのぞかない。 出入り口は全て施錠する。

	(気仙沼警察署生活安全課・近隣の学校・施設・市教育委員会等) ☐ 保護者への連絡(緊急メールで連絡)※登下校時と同様の対応	下校後も、不要不急の外出をしない。 ※学校の指示に従って、下校または保護者に引き渡しをする。
継続対応	☐ 職員間の情報共有・対応協議 ☐ 保護者及び生徒への連絡(緊急メール) ・最新情報の更新・翌日の登校方法・休日等屋外での過ごし方の指導 ☐ 学校での環境整備と誘引物除去(ゴミ管理、校外の点検、草刈りなど) ※安全が確保されるまで上記の対応を継続する。 ※すぐ大人に伝えることを基本として、反復指導する	クマを見ても近づかない。 撮影しない。／追いかけない。 食べ物の放置はクマの誘因になるためやめる。 「走らない」「大声で叫ばない」など、遭遇時のNG行動の継続。 万が一遭遇しても、落ち着き、ゆっくり後退し、安全な場所に避難する。

3. 学校園付近にクマが出没した(学校が第1通報者となる)場合の緊急連絡フロー

